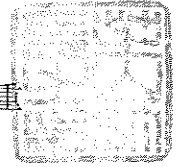


芝 建 第 129 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

芝 山 町 長 相 川 勝 重



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼の
あった件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県芝山町

1. 高規格幹線道路である首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝間）の早期完成を要望し、空港周辺地域の振興を図る。
2. 地域高規格道路である銚子連絡道路の早期完成を要望する。
3. 現在、国庫及び県の事業等で整備を図ってきた、町幹線町道の整備は、認定事業として有りますが、本町としても、現在、整備後の町幹線道路の維持管理に苦慮しているところです。この維持管理の事業費に対する国及び県からの補助事業としての事業化を要望します。
4. 現在、高規格道路の建設等にあたり、都市部優先の事業化が成されていると思われるが、今後の道路事業の推進として、地方高規格道路等についても、平等の立場での事業化を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

千葉県芝山町

○現状 本町を取り巻く広域道路網は、国道51号、295号、296号、408号、409号及び九十九里海岸と平行して走る国道126号などにより構成されています。また、高規格道路は、至近に東関東自動車道があり、首都圏中央連絡自動車道、銚子連絡道路などが、事業化・計画されています。 このように、本町をめぐる広域交通基盤は次第に整備が進みつつあります。なかでも、首都圏中央連絡自動車道は都心から40～60kmの主要都市を結ぶ首都圏の環状道路として重要な役割を果たすことが見込まれ、本町だけでなく空港周辺地域にとっても、大きな波及効果が期待されています。	○課題 町内の幹線道路網は、中央部を東西に走る国道296号、南北に走る主要地方道成田松尾線を軸とし、主要地方道八日市場八街線、県道大里小池線などで構成されています。また、成田松尾線バイパス二期も現在建設が進められています。 国道296号は、圏央道インターと空港を最短距離で結ぶ重要路線であり、また、成田松尾線は東金Ⅱ期横芝松尾インターへの接続のほか、成田地域と九十九里地域を結ぶ広域幹線道路としての役割を担っており、町の骨格を成す軸として位置づけ、整備を要望していく必要があります。 また、成田松尾線バイパスに接続し、空港外周道路としての役割を果たす成田環状道路及び成田松尾線と並び南北方向の軸となる県道大里小池線を本町の幹線道路網として位置づけ整備を促進していく必要があります。
---	--

1. 本町の目標として、周辺地域の高規格道路の整備を要望するとともに、主要町道の整備において、国・県道との連携をとり、利便性の高い道路ネットワークの形成を図り、また、幹線道路、生活道路それぞれの役割に即した道路整備を進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

千葉県芝山町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・安全な道路環境づくり ・利用しやすい道路整備		・歩道の設置や交通安全施設の整備、駐車場の整備促進により住民等の安全を図る。 ・高齢者、障害者、子どもなどの利用への配慮やわかりやすい案内標識の整備により弱者の安全対策を図る。。	